

『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!!

視覚コミュニケーション

人と人がコミュニケーションを取るには言葉や文字など様々な方法がある中、この通信のタイトルにもなっているように“色”もコミュニケーションを取る手段の1つとして使われています。色を使った視覚コミュニケーションにはポスターやチラシ、パンフレット等がありますが、共通して言えることは、どんなモノにも読み手の興味を引き内容を理解してもらってはじめて『情報やメッセージを伝達する』という目的が達成することです。また五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）で得る情報のうち視覚は87%とも言われるほど大半を占めています。

Vol.2では四季から色のイメージをして取り入れる方法をお伝えしましたが、今回は**伝えたい相手や作成内容に合わせた色の使い方**についてご紹介したいと思います。まず、色の役割としては大きく2つに分かれ、①**競合する商品との差別化をする**②**内容やそのイメージを明確にすること**です。

具体的にどのように考えて使われているか、何を中心にして色を決めているのか、例を挙げてお話ししたいと思います。

①競合する商品との差別化

性別による表現

女性向け



暖かみのある色(暖色系)を使用し可愛らしさをイメージ

男性向け



寒さを感じる色(寒色系)や黒・白(無彩色)でクールなイメージ

年齢層による表現

子供向け



鮮やかな色(高彩度色)でPOPな色合い

大人向け



暗めの色(低彩度色)で高級感を出している

②内容やイメージを明確にする

製品による表現

美白化粧品



その商品を使う事でもたらされる結果を連想させる色

日焼けローション



内容物による表現

オレンジジュース



内容を明確にする場合に原材料の色を強調している

コーヒー



日常生活で当たり前のように見る商品のパッケージですが、無意識の内に私たちはパッケージの色でその商品へのイメージを抱き、メーカー側は対象のお客様に手にとってもらえるような工夫をしています

デザインの種類

今回のテーマ：
「年齢層に合わせたチラシ」

一概には言えませんが、表のページで紹介したように読み手によって目につく色や好みは変わります。色に困った時は作成したモノを誰に読んで欲しいのか、誰に伝えたいのか、どんな事を伝えたいのか、など伝えたい内容や相手のことを考えて作成すると色が決めやすく、全体にまとまりが出てきます。では実際に、伝えたい内容と相手に合わせて作成したチラシをみていきましょう。

クリスマスのイメージカラー・・・ ■ 赤 ■ 緑 ■ オレンジ

地域交流会第88回
クリスマスツリーをつくらう!!

世界に1つだけのオリジナルのツリーを作りたい!

日時
2017年
12月2日(土)
13:00~14:30

場所
JB公民館
(第1会議室)

費用
500円
(高さ20cmのもみの木と飾りをご用意します)

事前申込み
不要

お問い合わせ先:ジムブレーン
住所:岐阜市藪田東 2-8-13 TEL:058-273-5566

子ども向け

鮮やかな色を使うと子ども向けのイメージに

大人向け

落ち着いた暗めの色を使うと大人向けのイメージに

大人の
クリスマスツリー創作教室

世界に1つだけのオリジナルのツリーを作ってみませんか?

日時
2017年
12月2日(土)
13:00~14:30

場所
JB公民館
(第1会議室)

費用
500円
(高さ20cmのもみの木と飾りをご用意します)

事前申込み
不要

お問い合わせ先:ジムブレーン
住所:岐阜市藪田東 2-8-13 TEL:058-273-5566

大きく見ると赤・緑・オレンジとどちらも同じベースの色を使用していますが、伝えたい年齢層に合わせて色の明るさや濃さを変えるだけで、こんなにも全体の雰囲気が変わります。読み手のことを考え、一生懸命作成した通信やお手紙は自然と相手に伝わるとは思います。そこには是非『色』も伝える方法の1つとしてプラスしてみてください。

イロイロ雑学

無意識のうちに認識させられている情報は商品ではありません。私たちが毎日目にしている『標識』も色の効果を有効活用しています。例えば“赤”は見ようとしなくても目に入ってしまう色です・・・そう、「止まれ」の標識に使われていますよね！プチ知識ですが、標識で赤を使う場合は少なくとも全体の35%を占めていないといけない等の決まりもあるそうです。また駅などで見る『出口』の案内表示は黄色の背景に黒の文字ですが、黄色は明るい色で黒は暗い色ですね。このように明暗の差を広げると、見ようとしたときに目に付きやすい表示になりやすい為、この配色にされています。さらに大通りや高速道路で見る道路の案内表示は青色は夕方、あたりが薄暗くなっても鮮やかに見える色として青が使われています。こうして考えると、私達運転者のことや歩行者のことを考えて決められているんですね！



みんなの安全を考えて作られているんだね!



色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを!

次回も

Let's カラコミュ!!